

‘元気るんるん’は湯田小学校のほけんだよりです。

元気るんるん



いつもだったら、梅雨が明けたとたんにセミの大合唱が始まり、その鳴き声聞くだけで暑さ倍増ってところですが、今年は、静かだと思いませんか？

夏に、樹皮に産みつけられたセミの卵は、樹皮の中で冬を越し、翌年の梅雨の頃、孵化します。生まれたばかりの小さな幼虫は、すぐに地上に落下し地中に潜りこみます。雨の日は、落下しても衝撃が少なく湿った柔らかい土を掘って中に潜りこむことができます。また、土の中で育ったセミの羽化には、気温の上昇と、まとまった雨が不可欠で、セミにとって、雨は、生きていくための大切な条件の一つなのです。今年は、短い梅雨と少雨で、セミにとっては受難な年となりそうです。受難は人間だけではないのです。いつも以上の困難を乗り越えた今年のセミの泣き声は、ことのほか心に響くかもしれません。



7月の保健目標 < 熱中症を予防しよう！ >

保健室牛物喜喜

…ある日の保健室。
Aくんがやって来て、
「よくわからないけど、足が痛いのでみて下さい。」
と言いました。
「よくわからないけどってどういうこと？ 思いあたることはないの？」
「足を打ったような…」
「打ったの？」
「ひねったような…」
「ひねったの？」
「……………」
「どっちなんよお～」



「じゃあ、足の痛いとお見せてちょうだい。」
と言って、見てみると、10円玉ぐらいの青あざができていいるじゃ～ありませんか！
「こりゃあ、打ったケガだね。何で打ったの？」
と聞いたら、Aくんは、今になって、やあ～っと「友だちが運んでいたイスの脚が当たって、打ちました。」
と、ケガしたときの様子をお話になられたのでございませう。これって瞬間記憶喪失？！
「もう！ それを早く言いなさいよお～」
よくわからないのは、ケガの理由ではなくてAくん、ア・ナ・タよ！ア・ナ・タあ～♪ナンタア～ルチア サンタア～ルチア…



アタマジラミに気をつけて！

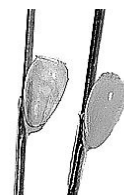
アタマジラミは、季節に関係なく発生しています。お子さまの髪の毛のチェックをお願いします。耳の後ろや後頭部の髪の毛に比較的によく産みつけられます。指でしごいても取れにくいのがアタマジラミの卵です。指でしごいて簡単に取れるのは、皮脂のかたまりや毛根部の皮膚がリング状に抜けたものです。

アタマジラミは本来寄生者から離れたくないので、感染経路は髪と髪が直接接触するか、帽子やクシやタオルなどの共用物を介して感染することがほとんどです。手で触ったくらいで感染することはありません。また、ノミのように飛び跳ねたり、ハエのように飛んで感染することはありません。

アタマジラミが見つかったら、薬局等で相談し、駆除に努めてください。また、集団発生防止のため、その旨、学校にもお知らせさせていただきますよう、よろしくお願ひいたします。



アタマジラミ



アタマジラミの卵

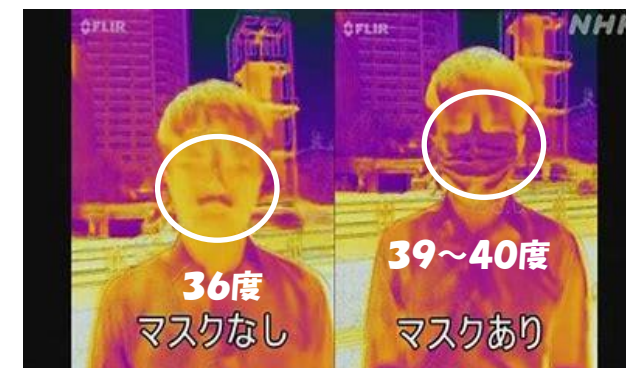


熱中症を予防 × 新型コロナ感染予防



※熱中症を防ぐために、屋外ではマスクをはずしましょう！

正午前に、東京の渋谷の街中で測定したところマスクをしていない状態では、口元の温度は36度前後になり、マスクを着けると、温度はすぐに3度ほど上がって39～40度に達し、その5分後には、マスクの内側に熱がこもって、口の周りに汗をか



き始めたそうです。マスクを着けると呼吸がしにくくなり、心拍数や呼吸数が1割ほど増えるというデータもあり、そこに運動や気温の急激な上昇が加わると熱中症になるリスクは高まります。

人と距離を保ち、近距離での会話を控えるなどの配慮をしながら、適宜マスクを外して休憩し、こまめに水分をとることが大切です。また、汗でマスクが湿ると通気性が悪くなるので、マスクを適度に取り替えることも大切です。



「熱中症警戒アラート」とは、熱中症の危険性が極めて高くなると予想された際(暑さ指数の値が3以上と予測された際)に発令され、危険な暑さへの注意を呼びかけ、熱中症予防のための行動を促すための情報を提供するシステムです。環境省熱中症予防情報サイトや気象庁のホームページでみることができます。